

# 2017年 政治と地域の課題を考える だれもが安心して住み続けるために



新しい希望を創り出す年へ  
日本共産党荒川区議  
横山 幸次

明けましておめでとございませう。昨年、野党と市民の共闘が実現し、新しい希望が生まれました。

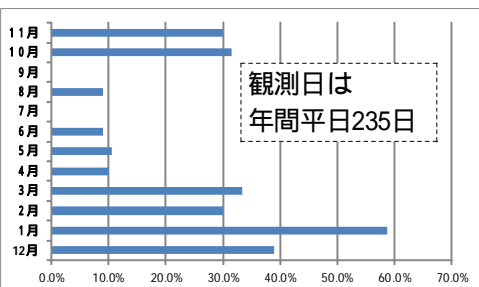
一方、安倍政権は、国民の多数が反対する「カジノ解禁法」、年金カット法、TPP関連法を強行採決するなど民主主義破壊の暴挙。今年こそ、憲法と立憲主義を守り、暴走する強権

政治を打ち破る新しい年に力をつくします。また格差と貧困を拡大した経済政策から区民の暮らしと地域経済を守ることも切実・緊急の課題となっています。

今年も様々な情報などお知らせし、みなさんの声を受け止めながら歩んでいきます。引き続きご協力をよろしく願います。

## 新春 荒川区が富士山や筑波山など定点観測環境の変化が見え方に大きな影響

正月と富士山は、やはり似合います。荒川区では、区役所屋上から富士山など定点観測しホームページで公開しています。年々見える日が増えているようです。一方その要因が、大気汚染対策の成果と地球温暖化や舗装などで地表が覆われる乾燥化が進んでいることもあり素直に喜ばれません。この100年間で東京の湿度は17%減少。環境問題への取り組みも急がれます。



サイトの開き方  
荒川区ホームページの環境・まちづくりのページ「区役所屋上からの眺望 荒川の空からこんにちは」...で見ることができます。



## 大地震などから命を守る取り組みは待ったなし... 屋内安全対策と建物耐震化支援の抜本的強化を

「震災対策」は区政の最重要課題です。今後30年で70%の確立という首都直下地震。「一人の犠牲者も出さない」ために、やれることは何でもやる...対応が求められます。

まず、屋内安全対策事業(下表)の本格的推進で、全世帯に感震ブレイカー、家具転倒防止措置を完了することです。そのため、大地震による火災原因の多くが通電火災であり感震ブレイカーが有効で、区の補助も全世帯対象であることなど知っていただくことが大事です。

ためには、建物の倒壊を防ぐ耐震化が必要です。ここが進んでいません。全面的な耐震工事ができない場合も最低限倒れない・避難経路を確保できる簡易な耐震工事にも補助を出すべきです。制度の拡充が必要です。

区分	感震ブレイカー等	家具転倒防止・落下防止器具
(1)	感震ブレイカー等設置工事	家具類の転倒・落下防止器具設置工事費
	補助率	補助率
	上限	上限
	一般世帯	1/2
(2)	感震ブレイカー等器具購入費(工事不要タイプ)	家具類の転倒・落下防止器具購入費(工事不要タイプ)
	補助率	補助率
	上限	上限
	一般世帯	1/2

区分	決定件数(申請件数)	内訳	
		一般	特例
感震ブレイカー等設置工事	78(81)	17	61
感震ブレイカー等器具購入	12(12)	0	12
家具類転倒・落下防止工事	22(22)	17	21
家具類転倒・落下防止器具購入	23(24)	12	11
合計	135(139)	30	105

2017年1月9日現在

## まちの話題あれこれ(番外編)

### グリーンパール那須のリニューアル工事が6月から稼働80%評価4以上... 保養所のあり方が今後の課題

区の保養所グリーンパール那須は、すでに築34年、大浴場や客室は一度のリニューアルもなかなかり傷んでいます。今回は、約1億円近くをかけて、客室と浴室の大規模なリニューアルを行うことを決めました。現在ビューホテルが運営していますが、ロコミサイトで5点満点で4以上

那須全体300の宿泊移設で10から20位前後の評価とのこと。しかし客室だけは、畳が波打つなどひどい状態です。大浴場の全面リニューアルに加え今回一室200万円程度のお金をかけるようです。区は今後10年くらいは大丈夫と言いつつ、今後5年間で区民保養所の在り方も検討するとのこと。今後、施設をしっかりと維持・保全し、施設の在り方は区民の声をしっかりと聞いて反映させることが何よりも大事です。(横山幸次)



壁の剥落防止のため、モルタルで穴埋めしている。



日本共産党荒川区議会議員

## 横山 幸次 ニュース

2017年 1月号外 発行 日本共産党荒川区議会区議団  
区議団控室 TEL 3802-4627 FAX 3806-9246  
E-mail: arajcp@tcn-catv.ne.jp  
町屋相談室 荒川区町屋5-3-5 3895-0504  
E-mail: yoko1951@aol.jp



裏面 区政の課題、都関連の課題など



# 「住民福祉の増進」が地方自治体の魂です：子ども、高齢者の貧困、高齢者福祉など本気の対策を

荒川区など地方自治体は、「住民福祉の増進」が最大の責務。この物差しで、区政の在り方をチェックしています。全国で広がる就学援助入学準備金前倒し支給

子どもへの貧困対策で、すぐできることに就学援助入学準備金の前倒し支給があります。全国で徐々に広がり、群馬県の太田市では前倒しとともに金額も倍増しています。また貧困対策で重要な義務教育完全無償化にむけて学校給食無

料化も広がっています。せめて工夫すればできる準備金前倒し実施に踏み込んでこそ自治体の役割が果たせます。高齢者が住み慣れた場所で暮らし続けるために

区外施設に800人：低所得者ほど遠隔地の区外施設に行かざるを得ない状況を直視して抜本的対策が必要。次期高齢者プランを待つことなく特養増設、小規模多機能、グループホームなどの計画化と実施を求めたいと思います。



区政の課題は、子育て、高齢者介護・福祉から産業振興まで多岐にわたっています。これからも情報をお知らせします。

## 「産業界」住宅リフォーム助成創設と設備投資補助拡充を

地域経済・産業振興策は、なかなかむつかしい課題です。その中で全国的に最も効果が上がっているのが住宅リフォームに対して一定額を自治体が助成する制度です。全国で600を超える自治体で実施、補助金の10倍前後の地域経済効果が生まれています。

また店舗改装などへの助成も全国55自治体で実施。荒川区は、共産党区議団の提案もあって店舗改装含め新たな設備投資に広く補助金を助成す

る制度を実施。今年度もすでに7000万円の補助金を支給。昨年実績から推測しても補助金の6〜7倍の仕事を生み出しており、制度のいっそうの推進が必要です。一方区は、住宅リフォーム助成に消極的ですが、最も効果的な産業振興策であり実施を強く求めています。

	件数	補助金額	備考
2017年度	92件	69,128,000円	12月現在
2016年度	107件	46,973,000円	年度全体

## 東京都に関わる地域の課題を見てみました



所在地	面積	容積率	建ぺい率
荒川8丁目14-10	804㎡	200	60
荒川8丁目21-4	437㎡	200	60
町屋7丁目1555-2	155㎡	200	60
南千住6丁目286	771㎡	200	60

### 区内保育園や特養ホーム建設など 区内保育園や特養ホーム建設など 区内保育園や特養ホーム建設など

保育園や特養ホーム増設に、都有地活用を求めてきました。都も南千住、荒川、町屋の区内4カ所の都有地の提供を申し出ています。これらの土地は用途が決まっていない財務局所管の土地です。しかし町屋7丁目を除けば広さはそこそこですが、道路付けなどが悪く、せつかくの用地ですが、荒川区としては、利用しづらいと判断。しかし知恵も出し方策を探ることが必要です。またここには入っていませんが南千住の工業用水、町屋7丁目清掃作業所用地など今後の活用も検討する時です。



内のスポーツ施設が少ないだけに、こういったグラウンドにするのかなど区民の声もよく聞いて反映を...

### 尾久の原公園に隣接した東尾久運動場 拡張・整備工事が来年度から開始か

都立尾久の原公園は、ダイオキシンが検出されて、盛り土など対策工事のために利用できなくなっていました。現在は全面開放されています。今回、東京都は、隣接する東尾久運動場と後方にある空き地（ポンプ場工事のフェンスまで）を一体にグラウンドとして整備し区に貸し出すための工事を来年度から行うようです。

そもそも、東尾久運動場の部分1・8には、東京都が「教育文化施設」を建設する約束で

した。しかし、暫定利用25年経過。ダイオキシン汚染で電柱も動かせない中、結局、都が盛り土（上白樺内）し、区が運動場と簡易観覧席などを整備したうえ借地料を月額50万円都に支払うことになりました。一体あの約束は何だったのでしょうか？

現在は、運動場整備の設計中で来年度着工すれば一時利用中止（かなり長期になる？）となります。その間の区民向けグラウンドの確保など万全の対策が求められます。

くらし、子育て、介護、雇用...まず声をかけて下さい。解決の第一歩です

日本共産党区議団町屋地域生活相談センター  
(横山幸次区議事務所)  
荒川区町屋5-3-5 TEL・FAX 3 8 9 5 - 0 5 0 4  
メール: yoko1951@aol.jp

定例法律相談会 毎月第一月曜日 午後6時～8時 生活相談は随時実施しています